

「令和元年度第2回 豊橋市地域公共交通活性化推進協議会」議事録

○日 時 令和元年11月15日（金）14時00分から

○場 所 豊橋市役所 講堂

○出席者 別紙「出席者名簿」参照

○傍聴人 2名

○事務局 6名

〔会議資料〕

◆次第

◆出席者名簿

【資料1】役員の選任について

【資料2】令和元年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）について

【資料2-1】令和元年度地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要について

【資料3】東部地区「地域生活」バス・タクシーの本格運行の継続について

【資料3-1】東山バス運営協議会の取組について

【資料4】北部地区「地域生活」バス・タクシーの本格運行の継続について

【資料4-1】石巻・下条地域交通推進委員会の取組について

【資料5】南部地区「地域生活」バス・タクシーの本格運行の継続について

【資料5-1】表浜地域公共交通推進委員会の取組について

【資料6】前芝地区「地域生活」バス・タクシーの本格運行の継続について

【資料6-1】しおかぜバス運営協議会の取組について

【資料7】川北地区「地域生活」バス・タクシーの本格運行の継続について

【資料7-1】かわきたバス運営委員会の取組について

【資料8】前芝地区「地域生活」バス・タクシーの停留所の移設について

【資料9】川北地区「地域生活」バス・タクシーの停留所の移設について

【資料10】「夏休み小学生50円バス」の実施結果について

【資料11】本協議会本年度利用促進事業の実施状況について

【参考資料】「地域生活」バス・タクシーの利用状況等について

## 議 事

### 1. 開会

- ・本日の議事録署名者として委員2名が会長より指名された。
- ・今回の議事の内容あるいは進行の過程の中で、非公開事項に関するところがあるかどうかの確認がされた。(非公開事項に関する事項はなし)

### 2. 議題

#### ○協議案第1号 役員の選任について

- ・事務局より、役員の選任について説明が行われた。  
(会長)
- ・会長の選任について協議を行うが、何か意見はあるか。  
(委員)
- ・会長は、専門的な見地から意見をいただいている、杉木直会長に引き続きお願いしてはどうか。

・議長から会長の選任について諮ったところ、全会一致で承認された。また、副会長及び監事については会長より指名された。

【副会長】豊橋市副市長 有野 充朗 委員

愛知大学 地域政策学部教授 駒木 伸比古 委員

【監 事】公益社団法人愛知県バス協会専務理事 小林 裕之 委員

豊橋商工会議所議員 富田 佳央 委員

#### ○協議案第2号 令和元年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）等について

- ・事務局より、令和元年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）等について、【資料2】【資料2-1】に基づき説明が行われた。

(質疑等)

(委員)

- ・資料2-1の6ページ目の目標値は、昨年の利用者数をもとに決めているのか。

(事務局)

・目標値は昨年の第1回豊橋市地域公共交通活性化推進協議会で決めた数字である。実績値については、平成30年10月から令和元年度9月末までの数字である。

(委員)

- ・事業評価が、そもそもどういうものかということについて説明しておく。豊橋市に

は、広域的に補助を受けている路線と、市内のフィーダーということで補助を受けている路線がある。補助を受けるものに関しては、協議会で自己評価することが義務付けられている。そのため、フィーダーについては、今回このように評価・協議し、来年1月22日に報告することになっている。幹線については、愛知県の協議会で評価をしている。広域的に考えて、別々の評価で良いのかということはあるが、現在はそのような制度で行っている。

- ・資料2の②について、路線名の記載があるが、これがバスマップの表記と同じ表記になっていないため分かりにくい。カッコ書きで「ここがこういう路線です」というように書いていただくと、理解しやすいと思う。

- ・資料2-1について、個別評価でよいが、幹線も含めた豊橋市全体としてみた評価も入れてほしいと思う。詳しいことは支局の企画担当と話して修正してほしいと思う。

- ・資料2-1の5ページ「3.計画の達成状況の評価指標とその結果」について、右側の「目標達成状況についての考察」の項目の3つ目に記載がある、「モビリティマネジメントなどの利用促進」とあるが、どの部分に当たるか。

(事務局)

- ・目標2-1「まちづくり施策と連携した公共交通ネットワークを形成する」において、モビリティマネジメントを行うことによって、目標値を達成できているという意味合いで書いている。路線バスでいえば、あなたのまちのバス時刻表を校区単位で世帯配布したり、路線によって地域の自治会に入ってもらい、利用促進の取組をしている。

(委員)

- ・修正の意見については修正するというだけで良いか。

(事務局)

- ・指摘いただいたことに関して、修正する。

(委員)

- ・先程、資料の修正が間に合わなかったと言っていたが、どこか。

(事務局)

- ・資料2-1、6ページ「(2) 地域内フィーダー系統確保維持計画」の野依地区について、豊鉄バス・三本木線の目標値が116,154人となっているが、資料2では116,153人となっていて、1人差が出ている。資料2の方が正しいので、資料2-1は、提出する際に116,153人と修正して提出する。

- ・議長から協議案第2号について諮ったところ、全会一致で承認された。

○協議案第3号 東部地区「地域生活」バス・タクシーの本格運行の継続について

- ・事務局より、東部地区「地域生活」バス・タクシーの本格運行の継続について、【資料3】に基づき説明が行われた。

- ・オブザーバーより、東山バス運営協議会の取組について、【資料3-1】に基づいて説明が行われた。

(質疑等)

(委員)

- ・1区間100円運賃の実証実験は、二川から視聴覚教育センターについてのことなのか。

(オブザーバー)

- ・1区間というのは1駅のこと。例えば、二川駅とヤマナカ二川店間も1区間である。もともとは1区間でも運賃が200円であり、200円払うなら歩くという人がいたため、ほとんど乗車のない状態で運行していた。それではもったいないということで、1区間100円にしたら利用が増えた。

(委員)

- ・キラウ歯科前と市営東山住宅間も以前は200円だったのか。

(オブザーバー)

- ・そのとおりである。このような区間の利用は少ないが、荷物を持っている人だと歩くのが大変なので、100円なら乗ろうという人が増えた。さらに、100円区間があることの周知を行ったため乗車数が増えた。

(事務局)

- ・補足として、東部東山線は、1区間100円運賃を導入し、平成27年4月から実証実験を開始している。平成30年10月1日からヤマナカ二川店と二川駅間及び、二川駅と視聴覚教育センター間は正式に100円となった。それ以外の1区間は、正式には200円だが実証実験として100円としている。

(委員)

- ・運賃が安いのは良いと思うので、これからも続けてほしいと思う。

(委員)

・東部地区は、今年の上半期の利用が増えたり、収支率が良くなったりして、車両経費が改善されているが、なぜか。

(オブザーバー)

・自治会にお願いをして敬老会に入ってる約190名に対して、やまびこ号の回数券を送り、それを使ってもらえるような利用促進として柿狩りを行った。それだけが、利用者が増えた絶対的な理由ではないが、おそらくそうだろうと思う。

(委員)

・総利用者数が半年で500人程度増えている。収支率が上がったのは、広告収入が増えたのか、利用者が増えたからか。

(事務局)

・この数字については、純粹に利用者が増えたということで良い。委員の中にも車に乗れなくなった人が、買い物から何までやまびこ号を利用している人もいる。ヘビーユーザーが増えているのは事実である。

(委員)

・地元でこのような取り組みをしているのが、大きな改善につながっていると思う。

・議長から協議案第3号について諮ったところ、全会一致で承認された。

○協議案第4号 北部地区「地域生活」バス・タクシーの本格運行の継続について

・事務局より、北部地区「地域生活」バス・タクシーの本格運行の継続について、【資料4】に基づき説明が行われた。

・オブザーバーより、石巻・下条地域交通推進委員会の取組について、【資料4-1】に基づき説明が行われた。

(質疑等)

(委員)

・岩田の運動公園から賀茂しょうぶ園まで行くのはこのバスであっているか。

(オブザーバー)

・柿の里バスだけだと行くことができないが、岩田の運動公園までは東部東山線と乗り換えていくことができる。ただ、乗り換えは豊橋医療センターでしかできない。

(委員)

・運動公園から賀茂しょうぶ園まで行こうと思ったら、片道 600 円から 700 円ほどかかると聞いたので、往復だとかなり運賃が高いと思い、利用するのをやめたという人がいた。それは違うバスのことか。

(オブザーバー)

・東山線と柿の里バスの両方に乗り継いでいけば、そのくらいの額になると思う。柿の里バスだけなら、赤岩口から乗ってもらうことになるが片道 500 円でしょうぶ園へ行ける。

(委員)

・もしかしたら、赤岩口から行こうとしていたかもしれない。そのくらい運賃が高くても利用者はいるのか。

(オブザーバー)

・それはしょうぶ園まつりの時期についてか。

(委員)

・そう。

(オブザーバー)

・しょうぶ園まつりの時に一番多く利用されるのは、豊鉄バスの臨時便である。柿の里バスを利用するのは 20~30 人くらいだと思う。

(委員)

・キャンペーンなどをされているので、しょうぶ園まつりにはこのバスで来れますよといった取り組みをやっているのか聞いたかった。

(委員)

・資料 4-1 の(7)アンケートの実施ということで、会長の大学の生徒と一緒にアンケートを行ったとあるが、いつ行われて、どういう人が対象で、現在どこまで検討をしているのか、分かる範囲で教えてほしい。

(事務局)

・アンケートは、8月下旬及び9月頃から10月の中頃にかけて、沿線校区の住まいの方を対象に行った。基本的には自治会に加入している方全世界帯に配布した。現在おおかたの回収が済んでおり、回収したものを杉木会長に渡している。これから集計と分析を行っていきたいと考えている。

(委員)

- ・アンケートは何人くらい回答されたか。

(事務局)

- ・今集計の段階なので、はっきりとした数字は分らない。

(委員)

- ・アンケート結果は、まだ全部来ていないが、前半分としてもらっている。今のところ、半分くらい袋に開けて数えたところ 1,500 枚だったので、最終的に結構な数になると思う。一世帯あたりに何枚数配ったか。

(事務局)

- ・1部である。

(委員)

- ・かなりの数が集まったので今後どうしようか悩んでいる。今は回収したものの封を開けて番号を打つくらいしかできていない。解析が進んだら、報告していこうと思う。

(委員)

- ・集計結果を楽しみにしている。

- ・議長から協議案第4号について諮ったところ、全会一致で承認された。

○協議案第5号 南部地区「地域生活」バス・タクシー本格運行の継続について

- ・事務局より、南部地区「地域生活」バス・タクシーの本格運行の継続について、【資料5】に基づき説明が行われた。

- ・オブザーバーより、表浜地域公共交通推進委員会の取組について、【資料5-1】に基づき説明が行われた。

(質疑等)

(委員)

- ・運行継続については問題ないと思っているが、デマンド運行なので乗合率が1つの課題となると思う。先ほど乗合率が1.5と言っていたが、乗合率は増加しているのか減少しているのか教えてほしい。

- ・また、乗合率を高めるための取組は何か行っているのか。

(オブザーバー)

・乗合率については、資料にある通り1便当たり1.4~1.5である。ただ、令和元年上半期で見ると、1.7と向上しているため、利用者が増えているということである。途中から乗車する利用者や、3、4人のグループで買い物に行く人もこの半年、1年で増えている。ロコミで買い物に行きましようというような誘いが、9月、10月のデータからもわかる。なかなか1人では予約して行きづらいので、個人的にはとても良いことだと思う。

・特に推進委員会として乗合率を意識して施策は打っていない。交通事業者とタイアップしてスマホで予約できるような制度があるが、やはり高齢者にとってそれは難しいと思うので、施策を今考え中である。乗合率を高めることは必要だと感じている。

(委員)

・これからアンケートを行うと聞いている。その時に乗合率を高めるヒントになるものを皆さんから意見を貰えば、次の政策につながると思う。

・議長から協議案第5号について諮ったところ、全会一致で承認された。

○協議案第6号 前芝地区「地域生活」バス・タクシーの本格運行の継続について

・事務局より、前芝地区「地域生活」バス・タクシーの本格運行の継続について、【資料6】に基づき説明が行われた。

・オブザーバーより、しおかぜバス運営協議会の取組について、【資料6-1】に基づき説明が行われた。

(質疑等)

(委員)

・8月の利用者数が減ったと言っていたが、それはヘビーユーザーが減ったため、利用者の減少にかなり影響したということが資料2に書いてあった。それは8月の頃なのか。

(オブザーバー)

・夏休みということで学生が使わなくなったのと、雨天が多かったため、出足が鈍ったのが考えられる。

(委員)

・利用者数が減少傾向にあるので、その要因が分かると良いと思う。引き続き利用促進の取組を行っていただければと思う。



- ・議長から協議案第6号について諮ったところ、全会一致で承認された。

○協議案第7号 川北地区「地域生活」バス・タクシーの本格運行の継続について

- ・事務局より、川北地区「地域生活」バス・タクシーの本格運行への移行について、【資料7】に基づき説明が行われた。

- ・オブザーバーより、かわきたバス運営委員会の取組について、【資料7-1】に基づき説明が行われた。

- ・議長から協議案第7号について諮ったところ、全会一致で承認された。

### 3.報告

○報告第1号 前芝地区「地域生活」バス・タクシーの停留所の移設について

- ・事務局より、前芝地区「地域生活」バス・タクシーの停留所の移設について、【資料8】に基づき説明が行われた。

○報告第2号 川北地区「地域生活」バス・タクシーの停留所の移設について

- ・事務局より、川北地区「地域生活」バス・タクシーの停留所の移設について、【資料9】に基づき説明が行われた。

(質疑応答)

(委員)

- ・バス停の位置が少し変わるが、利用者への周知はどのように行うか。

(事務局)

- ・基本的に周知は必要だと思っているので、回覧で回したり、バス停に移設する旨を掲載している。

○報告第3号 「夏休み小学生50円バス」の実施結果について

- ・事務局より、「夏休み小学生50円バス」の実施結果について、【資料10】に基づき説明が行われた。

(質疑等)

(委員)

- ・全体としては昨年に比べ100名くらい増えた。豊橋営業所管内で800人ほど減っているというのが気になる結果だと思ったが、何か要因はあるのか。

(事務局)

・豊鉄バスからもらっている報告によると、団体利用は昨年より少なくなったので、このような数字になった。

(委員)

・その他の市町村のコミュニティバスで力を入れて取り組みをされているところはあるのか。

(事務局)

・先々週頃に8市町村が集まってバスの担当者会議を行ったが、新城市がかなり積極的にPR等をしていると聞いた。

(委員)

・せっかくの取組みなので、来年は利用者が減らないようにPR等をつけてほしいと思う。

○報告第4号 本協議会本年度利用促進事業の実施状況について

・事務局より、本協議会本年度利用促進事業の実施状況について、【資料11】に基づき説明が行われた。

(質疑等)

(委員)

・現在、市電を愛する会が活発に活動を行っているが、その会とは一緒に取り組みをしているのか。

(事務局)

・協議会としては、市電を愛する会と一緒に取り組みをしているということはないが、豊橋市として、市電の日イベントでは共催している。

(委員)

・(1)の②「ええじゃないか豊橋平日お出かけフリー乗車券の発行」について、乗車券の運賃の一部を補填とあるが、具体的にどのくらいの額を補填しているのか。詳しく教えてほしい。

(事務局)

・消費税増税前は、一日乗車券が400円だったが、10月1日から500円に金額が上がった。そのうち100円をこの協議会から負担して、利用者からは今まで通り400円のお支払いで済むような形をとっている。

(委員)

- 実際に、それを利用している方も結構いるのか。

(事務局)

- 先月貰っている実績数によると、32枚の発行があった。

(委員)

- 発行枚数かける100円が本協議会から補填しているということか。

(事務局)

- そのとおりである。

#### 4.その他

#### 5.閉会

- 事務局長から閉会の挨拶があり、会議は終了した。

以上、議事の正確を証するため署名押印する。

豊橋市地域公共交通活性化推進協議会委員 ..... ⑩

豊橋市地域公共交通活性化推進協議会委員 ..... ⑩